

サーバー設定仕様書自動生成サービス 『SSD-assistance』 【生成サンプル】

1.本サンプルについて

本サンプルは、サーバー設定仕様書自動生成サービス『SSD-assistance』を使用して生成された編集可能な Microsoft Excel (.xlsx) 形式のファイルを、PDF化したものです。
実際に生成される設定仕様書は非常に情報量が多いため、繰り返しの部分などを一部省略しておりますが、出力される項目については全てご確認いただける内容となっております。

2.サーバー設定仕様書自動生成サービス 『SSD-assistance』とは

セイ・テクノロジーズでは設定仕様書(パラメーターシート)を自動で作成するサービス『SSD-assistance』を提供しております。
[詳しくはこちらをクリックしてください](#)

3.お問い合わせ

SSD-assistanceに関するお問い合わせは、お気軽に以下のお問い合わせフォームからご連絡ください。
[詳しくはこちらをクリックしてください](#)

差分比較リスト

仕様書商事 様

比較するサーバー

SAY-TECH-SV01

取得日

- - : :

基準となるサーバー

SAY-TECH-SV02

取得日

- - : :

作成日

- - : :

作成者

(社名)

(住所など)

本書の出力項目は以下のとおりです。

<ul style="list-style-type: none">・ Host・ OS・ DISK・ Drive・ Domain・ HardWare・ NIC・ 役割と機能・ Hotfix・ サービス・ アプリケーション・ システム・ グループポリシー（BITS）と（自動更新を構成する）・ WSUSServices・ WSUSインストールパラメータ・ WSUSオプション・ WSUSコンピューターグループ	<ul style="list-style-type: none">・ ファイアウォール・ 日付と時刻・ ユーザーアカウント制御・ ローカルユーザーとグループ・ ローカルグループ・ アカウントポリシー・ 共有フォルダー・ 公開・ タスクスケジューラ・ ネットワーク（チーミング）と（ipconfig /all）・ DNSサーバー・ DHCPサーバー・ IIS・ AD・ Hyper-V・ Windows 機能のサービス詳細
--	--

本書は上記項目を、差分のみを出力する「差分」とすべてを出力する「参照」の2つのシートで構成されます。

「参照」は、「差分」と同じフォームで差分を含む、出力可能なすべての項目を出力をします。

「参照」に出力されている項目のみが、本書の差分の対象になります。

たとえば、多様な項目で”パスワード”の設定がありますが、パスワードが異なっても「差分」にも「参照」にも出力されません。

設定項目	基準となるサーバーの設定値	比較するサーバーの設定値	差異	コメント
Host				
HostName	SAY-TECH-SV02	SAY-TECH-SV01	●	
OS				
Caption	Microsoft Windows Server 2022 Standard	Microsoft Windows Server 2022 Standard	●	
Version	10.0.20348	10.0.20348	●	
バージョン	2009	2009	●	
OS ビルド (整数部)	20348	20348	●	
OS ビルド (小数部)	288	768	●	
OSArchitecture	64 ビット	64 ビット	●	
DISK				
Disk1				
Model	Microsoft 仮想ディスク		●	
Size (Byte)	127 GB		●	
DeviceID	¥¥.¥PHYSICALDRIVE2		●	
Partitions	1		●	
Disk3				
Model	Microsoft 仮想ディスク		●	
Size (Byte)	127 GB		●	
DeviceID	¥¥.¥PHYSICALDRIVE1		●	
Partitions	1		●	
Drive				
Drive1				
DeviceID	C:	C:	●	
FileSystem	NTFS	NTFS	●	
FreeSpace (Byte)	121136992256	114332495872	●	
Size (Byte)	135614427136	135614427136	●	
ProviderName			●	
Drive2				
DeviceID	E:		●	
FileSystem	NTFS		●	
FreeSpace (Byte)	134159757312		●	
Size (Byte)	136346333184		●	
ProviderName			●	
Drive3				
DeviceID	G:		●	
FileSystem	NTFS		●	
FreeSpace (Byte)	129224994816		●	
Size (Byte)	136346333184		●	
ProviderName			●	
Hotfix				

Hotfix1				
ID			●	
ProgramName	Adobe Acrobat Reader - Japanese	Adobe Acrobat Reader - Japanese	●	
説明			●	
ParentName	Adobe Acrobat Reader - Japanese	Adobe Acrobat Reader - Japanese	●	
DisplayName	Adobe Acrobat Reader (23.001.20174)	Adobe Acrobat Reader (23.003.20201)	●	
DisplayVersion	23.001.20174	23.003.20201	●	
Publisher	Adobe Systems Incorporated	Adobe Systems Incorporated	●	

一部省略

設定項目	基準となるサーバーの設定値	比較するサーバーの設定値	差異	コメント
Host				
HostName	SAY-TECH-SV02	SAY-TECH-SV01	●	
OS				
Caption	Microsoft Windows Server 2022 Standard	Microsoft Windows Server 2022 Standard	●	
Version	10.0.20348	10.0.20348	●	
バージョン	2009	2009	●	
OS ビルド (整数部)	20348	20348	●	
OS ビルド (小数部)	288	768	●	
OSArchitecture	64 ビット	64 ビット	●	
DISK				
Disk1				
Model	Microsoft 仮想ディスク		●	
Size (Byte)	127 GB		●	
DeviceID	¥¥.¥PHYSICALDRIVE2		●	
Partitions	1		●	
Disk2				
Model	Microsoft 仮想ディスク	Microsoft 仮想ディスク		
Size (Byte)	127 GB	127 GB		
DeviceID	¥¥.¥PHYSICALDRIVE0	¥¥.¥PHYSICALDRIVE0		
Partitions	3	3		
Disk3				
Model	Microsoft 仮想ディスク		●	
Size (Byte)	127 GB		●	
DeviceID	¥¥.¥PHYSICALDRIVE1		●	
Partitions	1		●	
Drive				
Drive1				
DeviceID	C:	C:	●	
FileSystem	NTFS	NTFS	●	
FreeSpace (Byte)	121136992256	114332495872	●	
Size (Byte)	135614427136	135614427136	●	
ProviderName			●	
Drive2				
DeviceID	E:		●	
FileSystem	NTFS		●	
FreeSpace (Byte)	134159757312		●	
Size (Byte)	136346333184		●	
ProviderName			●	
Drive3				
DeviceID	G:		●	

FileSystem	NTFS		●	
FreeSpace (Byte)	129224994816		●	
Size (Byte)	136346333184		●	
ProviderName			●	
Hotfix				
Hotfix1				
ID			●	
ProgramName	Adobe Acrobat Reader - Japanese	Adobe Acrobat Reader - Japanese	●	
説明			●	
ParentName	Adobe Acrobat Reader - Japanese	Adobe Acrobat Reader - Japanese	●	
DisplayName	Adobe Acrobat Reader (23.001.20174)	Adobe Acrobat Reader (23.003.20201)	●	
DisplayVersion	23.001.20174	23.003.20201	●	
Publisher	Adobe Systems Incorporated	Adobe Systems Incorporated	●	

一部省略

本書の説明

本書の内容について、補足や特殊事項を以下に記載します。

◆本書の構成

■各項目について

- ・ 設定項目： 設定項目が属するグループ名称
項目により階層的な出力となります。
- ・ 基準となるサーバーの設定値： 比較のための基準となるサーバーの設定値
- ・ 比較するサーバーの設定値： 比較するサーバーの設定値
基準となるサーバーの設定値と異なる場合、背景が黄色になります。
- ・ 差異： 設定設定値が1つでも異なる場合、グループ単位で"●"が出力されます。すべて同じ値であれば、"（空白）"になります。
各項目タイトル行にも「差異」列には背景と同色で"●"が記載されるため、EXCELのフィルターで"●"のみを表示することにより、
差分のみをリスト化できます。
- ・ コメント： お客様の入力用に用意したもので、本書では出力しません。

■出力例

- ・ Drive1における、1つの設定値である「Size(Byte)」が異なるため背景が黄色になります。
- ・ 他の設定値は同値なので、背景色は変化しません。
- ・ 出力例の1つのDriveは「DeviceID」など4つの設定値から構成されています。その値が1つ以上異なる場合、4つの設定値とタイトル行の「差異」列に"●"が出力されます。
ただしタイトル行の"●"は背景と同色のため、表示では見えません。

設定項目	基準となるサーバーの設定値	比較するサーバーの設定値	差異	コメント
Drive				
Drive1				
FileSystem	NTFS	NTFS	●	
Size（Byte）	101237628928	101229711360	●	
ProviderName	135770664960	135770664960	●	

◆設定値について

- ・ 一部の設定項目では、初期の未設定のままの状況と操作で"オフ"とした場合で取得値が異なります。
UI上では、同じ"オフ"ですが、初期の設定のままと操作の結果で値が異なり、差分として出力されます。
例） Windowsの設定：更新とセキュリティ：詳細オプション "オフ"：操作によるもの "オフ（初期値）"：未設定のもの
- ・ 設定値の比較について
比較は、最大有効文字数は10,000文字までとなります。10,000字を超えて、値が異なる場合、差分として認識されません。
- ・ 非活性の設定値について
GUIにおいて、グレー表示されている項目で、設定が不可能な設定値（非活性な項目）は、Windows内部で値を保持していることがあります。
そのため下記のように、操作しなくとも値が出力されることがあります。

(出力例) WSUSの更新元サーバーを「Microsoft Update から同期する」にした場合、Windowsの画面では、
「同期するサーバー」、「同期するポート番号」、「同期時にSSLを使用する」は無用な設定となり非活性になりますが、
その設定値はWindows内部に残ります。差分リストでは、その設定値も対象として出力します。

WSUSオプション				
更新元およびプロキシサーバー				
更新元サーバー	Microsoft Update から同期する		●	
同期するサーバー	Windows Server XXXXXXXX		●	
同期するポート番号	8530		●	
同期時にSSLを使用する	有効		●	

◆タスクスケジューラの表記

■タスクスケジューラにおける日時 (ISO8601)

yyyy-MM-ddThh:mm:ss+09:00

・"T"は日付と時刻の区切りを示します

・末尾の"+09:00"もしくは"Z"は「タイムゾーン間で同期」を意味します。

Windows Server 2012 R2では、"Z"が出力 例) "2019-08-27T10:43:01.3099144Z"

Windows Server 2016以降では、"+09 : 00"が出力 例) "2019-08-27T19:43:01+09:00"

■「タスクの開始：スケジュールに従う」

・"1回" を選択した場合

「トリガー(指定日時)：タスクの開始 (スケジュールに従う - 1 回)」

・"1回" 以外 ("毎日"、"毎週"、"毎月")を選択した場合の共通項目

「トリガー (毎日 / 毎週 / 毎月)：タスクの開始 (スケジュールに従う - 毎日 / 毎週 / 毎月)」

・"毎日"、"毎週"、"毎月"の選択は、下記の項目の個別の出力で確認できます。

「トリガー (毎日)：設定 (ラジオボタン - 毎日) 」

「トリガー (毎週)：設定 (ラジオボタン - 毎週) 」

「トリガー (毎月 - 日付指定)：設定 (ラジオボタン - 毎月 / 日) 」

「トリガー (毎月 - 曜日指定)：設定 (ラジオボタン - 毎月 / 曜日) 」

■タスクスケジューラの[条件]-[ネットワーク]-[□次のネットワーク接続が使用可能な場合のみタスクを開始する]のUIと本書の出力値は以下に対応します。

「■：次のネットワーク接続が使用可能な場合のみタスクを開始する」と指定したネットワークが

本書では、

条件：ネットワーク：次のネットワーク接続が使用可能な場合のみタスクを開始する (チェックボックス)→"ON"

条件：ネットワーク：次のネットワーク接続が使用可能な場合のみタスクを開始する (プルダウン)→(設定されたネットワーク)

「□：次のネットワーク接続が使用可能な場合のみタスクを開始する」が

本書では、

条件：ネットワーク：次のネットワーク接続が使用可能な場合のみタスクを開始する (チェックボックス)→"OFF"

条件：ネットワーク：次のネットワーク接続が使用可能な場合のみタスクを開始する (プルダウン)→初期値："任意の接続"

◆ファイアウォールについて

◆ファイアウォール：[IPsec の設定：IPsec の既定値のカスタマイズ：詳細な認証方法のカスタマイズ]

[接続セキュリティの規則]-[認証]-[詳細な認証方法のカスタマイズ]の1番目および2番目の認証方法を設定するUIでは、
コンピューター（Kerberos V5）で[☐Kerberosプロキシサーバーを使用する]とそのサーバー指定がありますが、本書では未対応です。

◆ファイアウォール：[受信の規則/送信の規則：プロパティ：プログラムおよびサービス：アプリケーション パッケージ設定のカスタマイズ：アプリケーション パッケージ]

OS上では適用されているアプリケーションの「名前」と「ユーザー」が表示されますが、本書では「ユーザー」の出力に対応していません。

当該アプリケーションの「アプリケーションSID」と「名前」のみが出力されます。

◆DNSサーバーについて

■出力範囲

本項では、"WINS"、"WINS-R"、"SOA"、"ネームサーバー"の4種類のプロパティと"SRV"、"CNAME"の2種類のリソースレコードを出力します。

また、"CNAME"につきましては、「エイリアス名」を出力していません。そのため、以下の方法にてエイリアス名を読み替えてください。

読み替え方法

- ・参照先：[ゾーン：リソースレコード (CNAME)] - [リソースレコード (CNAME)] - [完全修飾ドメイン名]
[完全修飾ドメイン名]は"[エイリアス名][サブドメイン][ゾーン名]の文字列構成で出力されているため、
[完全修飾ドメイン名]の文字列から[サブドメイン]および、[ゾーン名]を抜いた文字列が[エイリアス名]となります。

■時間の出力形式

DNSの[ゾーン：プロパティ：SOA]における「更新間隔」～「TTL」の時間の設定は、本書では以下のような出力形式になります。

書式：dd"日" hh:mm:ss.fffff

日が"0"の場合は、省略。ミリ秒 fffff が"0"の場合は、省略。

出力例

90日00:00:00

10:10:12

00:00:05

UIでは「時間」、「分」までの設定ですがシステム内はミリ秒まで保持しており、ミリ秒 (ffff) まで出力する場合があります。

出力例

90日00:00:00.123456

■ネームサーバーのゾーン転送を許可するサーバーの表記について

[プロパティ：全般：ゾーンの転送：ゾーン転送を許可するサーバー]に "ネーム サーバー タブの一覧にあるサーバーのみ" を設定した場合に

該当ゾーンにネームサーバーが1つも登録されていない場合、表示する対象が存在しないと判断し、空欄で表示する仕様となっています。

実際の Windows の GUI とは表示が異なりますが、「該当ゾーンに、ネームサーバーが1つも登録されていない状態」と読み替えてください。

■リソースレコードの表記について

[ゾーン：リソースレコード]ではWindows の GUI で表示される「ドメイン」の項目を表示していないため、リソースレコードの判別を行いたい場合には、

表に記載された「ホスト名」を解読していただく必要があります。

この「ホスト名」では下記表のように、Windows の GUI で表示される「ドメイン名」と「ディレクトリ構造」の文字列で対象リソースレコードのドメイン名を表記しており、先頭の部分がドメイン名を示しています。

例

Windows GUI 上の表記

ディレクトリ(1)：_sites.DomainDnsZones

└ディレクトリ(2)：_tcp.Default-First-Site-Name.

└ドメイン名：_ldap.

仕様書上の表記

_ldap._tcp.Default-First-Site-Name._sites.DomainDnsZones

(「ドメイン名」 + 「ディレクトリ(2)」 + 「ディレクトリ(1)」)

◆DHCP

■時間の出力形式

[IPv4：プロパティ：フェールオーバー]-[状態の切り替え間隔]などの時間の設定は、◆DNSの（時間の出力形式）と同様になります。

◆WSUS

■WSUS設定の出力範囲

WSUS設定の詳細(サービスとオプション)に関する設定値は以下の項目を出力しています。

- ・サービス（[管理ツール] - [サービス]）

Windows Internal Databaseサービスのプロパティ / Windows Internal Database VSS ライター サービスのプロパティ

WSUS Certificate Server サービスのプロパティ / WSUS Service サービスのプロパティ

World Wide Web 発行サービスのプロパティ

- ・インストールパラメーター

- ・オプション（[Update Services] - [WSUSサーバー] - [オプション]）

更新元およびプロキシサーバー / 更新ファイルと更新言語 / 同期スケジュール / コンピューター / ロールアップのレポート / 電子メール通知

■BITSの出力範囲

BITS(Background Intelligent Transfer Service)サービスに関する設定値は「バックグラウンド転送の最大ネットワーク帯域幅を制限する」の項目を出力しています。

■Windows Updateの自動更新の構成の出力範囲

Windows Updateの自動更新の構成に関する設定値は「（ローカルグループポリシー）[管理用テンプレート]

- [Windows コンポーネント] - [Windows Update] - [自動更新を構成する]」の項目を出力しています。

◆IIS

本書で扱うIISのWeb サーバーまたはWeb サイトの機能設定は以下を対象としています。

ただし、機能がインストールされていない場合、その設定の記載はございません。

- ・ HTTP 機能 … HTTP 応答ヘッダー、 MIME の種類、 エラー ページ、 既定のドキュメント、 ディレクトリの参照、 要求フィルター
- ・ サーバーコンポーネント … ハンドラー マッピング、 モジュール
- ・ セキュリティ … サーバー証明書、 機能の委任、 SSL 設定、 認証
- ・ パフォーマンス … 圧縮、 出力キャッシュ
- ・ 状態と診断 … ログ記録
- ・ その他 … 共有構成 (Shared Configuration)

◆Windows 機能のサービス詳細

本書で扱う、Windows 機能の関連サービスを記載しています。以下の機能とサービスが対象です。

ただし、対象の機能をインストールしていない場合は、該当のサービスの記載はございません。

- ・ DNS サーバー … DNS Server
- ・ DHCP サーバー … DHCP Server
- ・ IIS … Application Host Helper Service、 Windows プロセス アクティブ化サービス、 World Wide Web 発行サービス、 IIS 管理サービス
- ・ AD … Active Directory Domain Services、 Active Directory Web Services、 Active Directory 証明書サービス